

令和3年度 高志中学校1年 「高志学」外部講師リレー講座③

- 1 期 日 12月9日(木)
- 2 場 所 福井県立高志中学校 若葉食堂
- 3 講 師 石黒建設株式会社 社長室・人材開発部 人材開発課 課長 甲斐久美子 様
株式会社ナカテック 執行役員 営業技術・研究開発 毛利幸生 様
- 4 参加生徒 86名

5 報 告

◆石黒建設株式会社

最初に2つの事業内容の説明がありました。「建築事業は、建物を建てることです。建物があることで人々の生活が成り立ち日常を豊かするなど、社会の根幹を支えています。土木事業は、人々が安全で便利な生活を送るなど、社会の基盤を整えています。施工した両事業の代表的なものに、国際交流会館やドン・キホーテ、能美根上スマートICや北陸新幹線葉原工区(施工中)などがあります」とのことでした。具体的には、現場監督をオーケストラの指揮者に例え、電気設備や内外装、躯体工事など、「ものづくりのプロ集団」をサポートしていると説明してくださいました。最後に、建設業は「超かっこいい」とおっしゃっていたのが印象的でした。

[生徒の感想]

福井県初の女性ドローン技術者がいること、視差を利用したドローン測量、建設に関するクイズなど楽しくわかりやすい説明があり、以前よりも建設業を身近に感じることができました。今後、工事現場や高速道路を通るときは、進化した技術やたくさんの技術者の労力に感謝したいと思いました。

◆株式会社ナカテック

最初に地球温暖化についてのお話があり、SDGs「持続可能な開発目標」は大人たちの始末書であると説明してくださいました。「地球温暖化の原因は人間の活動に起因すると認められ、地球環境を守るために二酸化炭素を排出しない取り組みが求められています。そこで、ナカテックでは環境にやさしい水素利用を普及させる活動に力を入れています」とのことでした。水素は正しく扱えば安全であるが、水素を貯蔵するためのタンク(金属)がボロボロになってしまうことが課題であることを知りました。最後に、福井県で40台しかない燃料電池自動車のMIRAIを見せていただき、生徒たちは、二酸化炭素などの排気ガスでなく水蒸気が出る様子に感心していました。

[生徒の感想]

テレビで「脱炭素」をよく聞くが、発電などの大半は、二酸化炭素を排出するので、いかに水素などの再生可能エネルギーを促進させるかが、私たちの課題だと思いました。また、水素自動車を普及させるためにも、現在1か所しかない福井県内の水素ステーションを増設する必要があると思いました。

